

生涯学習・社会教育関係職員研修講座センター研修【新任職員研修前期】

令和7年6月13日(金)10:00～15:00 青森県総合社会教育センター 受講者50名

1 内容

【講義】「生涯学習・社会教育」はじめての一步

【演習】「熟議」を体験してみよう

～発表しない、まとめない！？えっ！？～

【講師】秋田大学教育文化学部 非常勤講師

みながわ まさひと
皆川 雅仁 氏



【経歴】

秋田県内の小、中学校で教鞭をとるとともに、秋田県教育庁生涯学習課等で社会教育の仕事にも携わってきた。2012年からは、小、中学校の校長も歴任。校長時代の2年間は、文部科学省のコミュニティ・スクール推進員も務めた。社会教育関係では、派遣社会教育主事4年、教育事務所2年、宿泊型青少年教育施設3年、社会教育機関7年、県教育庁生涯学習課6年の勤務経験があり、学校教育に17年、社会教育に21年携わってきた。2021年からは、秋田大学非常勤講師として社会教育経営論を担当している。また、生涯学習・社会教育、学校教育に関するさまざまな分野の研修講師として、北東北を中心に全国各地で活躍している。

【講義要旨】

- 生涯学習や社会教育において事業を企画する際の拠り所を考えると、まず関係法令（教育基本法や社会教育法など）や各種計画、社会教育関係団体について確認することが重要です。
 - 社会教育法第2条では、社会教育の定義が定められています。また、第3条では国及び地方公共団体の任務が、第5条では市町村の教育委員会の事務について詳しく記されています。事務（事業）を実施する際は、社会教育法を確認しながら進めましょう。
 - 秋田県生涯学習センターでは、業務（事業展開）の改善を図るため、職員が一堂に会する勉強会を何度も行い、その結果、市町村と協働スタイルによって展開する「オーダーメイド型社会教育主事派遣事業」を立ち上げ、学校・家庭・地域の連携・協働や障害者の生涯学習支援の分野で精力的な活動を展開しています。
 - 社会教育のマネジメントでは、LRDCサイクル（※注）が有効です。地域の状況を把握し、既存の要素を改良して事業を企画・実施します。その結果生まれたつながりを活用し、次の展開を考えることが重要です。「事業成功の鍵はネットワークにある」と言えるでしょう。
- 注）Look（意識的に見る）、Renovate（改革する）、Do（実施する）、Connect（つながる）

2 受講者の感想

- ・新人で分からないことが多かったのですが、社会教育について貴重な講義を受けることができ、良かったです。また、さまざまな地域の方と交流を深め情報交換できたので、これからの仕事に生かしていきたいと思います。
- ・社会教育の守備範囲の広さに戸惑い、日々の雑務に追われ、訳も分からず業務をこなしていましたが、本日の講義を聞き、どちらを向いて働くべきか見えてきました。
- ・「熟議」では、気負うことなく意見交換ができました。また、自分では思いつかなかった考えや気づいていなかった点に気づくことができ、とても有意義な活動となりました。